



Mon

見る

Tue

知る

Wed

ひと

Thu

歴史

Fri

文化&スポーツ

# 軌跡

## 彩り豊かに ロボット脈々 ⑤

ロボットと関わる  
関西の主な動き

機関・イベント	概要
日本万国博覧会	1970年開催。手塚治虫氏がロボット館の展示を監督
国際電気通信基礎技術研究所	けん玉ロボット(94年)など様々なロボットを開発
大阪市立科学館	東洋初のロボット「学天則」を2008年に復元、展示へ

15年度からは身の回りの様々なものがインターネットに

負を語る。

奈良先端科学技術大学院大学は2014年末、米カーネギーメロン大学の金出武雄教授と組んで研究者が相互に交流する「国際共同研究室」を設置した。京都大学出身でロボット工学の世界的権威になった金出教授ら6人を招くほか、奈良先端大から専任の助教ら5人を派遣する。

金出教授と親交のある奈良先端大の小笠原司教授は「ここはバイオ研究で知名度が高い。ロボットでも優れた拠点であることを示したい」と抱負を語る。

電子版にバックナンバーを掲載。▼Web刊↓特集↓関西発

## 次代を担う人材育む

つながる「IoT」分野で起業家精神を育むプログラムを始める。ロボットとも密接に関係する技術。他大学の学生や社会人も受講可能だ。「ロボット分野の若い研究人材を増やしたい」(小笠原教授)と、推進策を相次いで打ち出す。

日本のロボット産業を拡充していくうえで、日本発の標準規格を作る戦略も重要だ。経済産業省が後押しし、介護ベッドと車いすを一体化させたパナソニックのロボット介護機器「リシヨーン」と、配送センター内で高速運搬車を自動制御するタイフクの「エリア管理システム」が昨年、世界で初めて国際安全規格に認証された。

ロボットの動作を制御する基幹ソフトの開発で日本は米ベンチャー企業の競合ソフトに主導権を奪われた。うかうかとしてはられない。

(この項おわり)

来週は「錦市場、不易流行の400年」